

ワイド浸透シーラーEPO

ワイド浸透シーラーホワイト

ワイド浸透シーラーブラック

広範囲な用途と素材に対応した多機能エポキシ樹脂シーラーです。

特長

- コンクリート、モルタル、窯業系サイディングボードなどの無機質素材はもちろん、金属系サイディングボードなどの金属部やFRP樹脂面など幅広い素地に対応可能です。
- 壁面、屋根など広範囲の用途に使用できます。
- 高い浸透力と2液形エポキシ樹脂の強力な付着力で、脆弱な下地の強度を高めると共に、強固に素材と密着します。
- ワイド浸透シーラーホワイト、ワイド浸透シーラーブラックは強力な防食効果を有していますので、付帯部などの金属面も同一材料で安心して塗装することが可能です。
- 弱溶剤タイプなので強溶剤タイプに比べ臭気がマイルドで、既存塗膜のチヂミや溶解が少なく、幅広い旧塗膜に適用します。
- 各種既存塗膜への密着性に優れています。
- 用途に応じ、透明、ホワイト及びブラックから選択することができます。
- ワイド浸透シーラーブラックはFRP貯水水槽の外表面用下塗として使用することで、太陽光を遮蔽し藻の発生を抑制します。
- ワイド浸透シーラーEPO・ワイド浸透シーラーホワイトはJASS 18 M-201反応形合成樹脂シーラー及び弱溶剤系反応硬化形合成樹脂シーラー性能相当品です。
- ワイド浸透シーラーホワイト、ワイド浸透シーラーブラックはJASS 18 M-109変性エポキシ樹脂プライマー及び弱溶剤系変性エポキシ樹脂プライマー性能相当品です。

用途

- セメント系素地の内外壁及び屋根（EPO・ホワイト・ブラック）
- 一般鉄部及び金属系屋根（ホワイト・ブラック）
- FRP貯水水槽（ブラック）

適応素地

●ワイド浸透シーラーEPO ●ワイド浸透シーラーホワイト ●ワイド浸透シーラーブラック

- コンクリート、モルタル、窯業系サイディングボード、押出成形セメント板、化粧スレート瓦、セメント瓦等
けい酸カルシウム板（密度0.8以上）

●ワイド浸透シーラーホワイト ●ワイド浸透シーラーブラック

- 鉄骨、鋼板、亜鉛鉄板、ステンレス鋼板、アルミニウム板、着色亜鉛鉄板、どぶ漬け溶融亜鉛めっき鋼材等
注1) どぶ漬け溶融亜鉛めっき鋼材は、1ヶ月以上ばく露し、素材表面をディスクサンダー（研磨紙P120～240）にて入念に研磨し、白さびを除去してください。艶が残っている場合は塗装を避けてください。
注2) 塩化ビニル被覆鋼板は不適

適応上塗

ワイドエポレシリーズ、ワイドシリーズ、ラフトンワイドフツ、1液ワイドシリーズ、4Fシリーズ、ワイドウォールシリーズ、ワイドルーフシリーズ、ユニシリーズなど

可使時間／乾燥時間

●ワイド浸透シーラーEPO

項目	5℃	23℃	30℃
可使時間	16時間	8時間	3時間
指触乾燥	2時間	1時間	0.5時間
硬化乾燥	24時間	5時間	2時間

●ワイド浸透シーラーホワイト ●ワイド浸透シーラーブラック

項目	5℃	23℃	30℃
可使時間	10時間	5時間	2.5時間
指触乾燥	4時間	1.5時間	1時間
硬化乾燥	24時間	12時間	8時間

荷姿

●ワイド浸透シーラーEPO

14kgセット（主剤12.6kg 硬化剤1.4kg）

●ワイド浸透シーラーホワイト ●ワイド浸透シーラーブラック

16kgセット（主剤14.4kg 硬化剤1.6kg）

色相

ワイド浸透シーラーEPO：透明

ワイド浸透シーラーホワイト：白

ワイド浸透シーラーブラック：黒

性能

●ワイド浸透シーラーEPO ●ワイド浸透シーラーホワイト

試験項目	規格	性能
容器の中での状態	かき混ぜたとき、硬い塊がなく一様になるものとする。	合格
塗装作業性	はけ塗りの塗装作業性に支障があってはならない。	合格
塗膜外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
耐水性	水に浸して異常があってはならない。	合格
耐アルカリ性	24時間浸しても異常がないものとする。	合格

※JASS 18 M-201 反応形成樹脂シーラー及び弱溶剤系反応硬化形成樹脂シーラーによる

●ワイド浸透シーラーホワイト ●ワイド浸透シーラーブラック

試験項目	規格	性能
半硬化乾燥性	かき混ぜたときに、塊がなく一様になる。	合格
ポットライフ	5時間後、使用できる。	合格
たるみ性	たるみがない。	合格
上塗り適合性	支障がない。	合格
耐衝撃性	割れ及びはがれがない。	合格
付着性	分類1又は0	合格
耐アルカリ性	5%NaOH水溶液浸漬で異常がない。	合格
耐揮発油性	トルエン・石油ベンゼン混合溶剤浸漬で異常がない。	合格
耐熱性	外観が正常である。 試験後の付着試験で分類2、分類1又は分類0	合格
サイクル腐食性	さび、膨れ、割れ及びはがれがない。	合格

※JIS K5551 鋼構造物用さび止めペイントの試験方法による

●ワイド浸透シーラーEPO ●ワイド浸透シーラーホワイト

試験項目	規格	性能
低温安定性	塊がなく組成物の分離、凝集がないこと。	合格
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	ひび割れがない。	合格
付着強さ	標準状態	1.0以上
(N/mm) 浸水後	0.7以上	合格
温冷繰り返し	試験体の表面に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がないこと。	合格
透水性B法	0.5以下	合格
耐衝撃性	ひび割れ、はがれ及び著しい変形がないこと。	合格
塗装作業性	塗装作業に支障があってはならない。	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
上塗り適合性	上塗りに支障があってはならない。	合格

※JIS A6909 復層塗材REの試験方法による

太陽光透過率

●ワイド浸透シーラーブラック

光透過率 (%)	
FRP素材	ワイド浸透シーラーブラック + 各種上塗
0.4	0.01以下

※光透過率が0.01以下から漏の発生は見られません。

標準塗装仕様

●ワイド浸透シーラーEPO

工程	塗料	割合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	●素地表面の汚染付着物は十分に清掃する。(ブラシ・エアブロー・高圧水洗など) 特に、重なり部分や溝、金属周辺は入念に清掃する。 ●フックボルト及び取付金具の発錆部は、サンダー、ワイヤーブラシ、研磨紙などを用いて入念に除去し、さび止め塗料で拾い塗る。 ●花咲き、チョーキングなどの劣化塗膜は皮スキ、サンダー、ブラシで除去する。●油脂類は溶剤がきで除去する。●素地は十分乾燥させる。					
下塗り	ワイド浸透シーラーEPO	100	0.08~0.20	1	4時間以上1ヶ月以内	はけ塗り、ローラー塗り、エアレス塗り
上塗り	各種上塗塗料：ワイドエポレシリーズ、ワイドシリーズ、ラフトンワイドワッソ、1液ワイドシリーズ、4Fシリーズ、ワイドウォールシリーズ、ワイドルーフシリーズ、ユニシリーズなど					

注1) 劣化した吸い込みの著しい箇所には2回塗りしてください。注2) 水性塗料を上塗りする場合は、工程間隔を24時間~7日間としてください。
注3) 塗付量は標準的な数値です。素地の形状や状態、塗装方法、環境によって増減することがあります。注4) ワイド浸透シーラーEPOの金属部への塗装は避けてください。

●ワイド浸透シーラーホワイト ●ワイド浸透シーラーブラック

工程	塗料	割合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	●素地表面の汚染付着物は十分に清掃する。(ブラシ・エアブロー・高圧水洗など) 特に、重なり部分や溝、金属周辺は入念に清掃する。 ●フックボルト及び取付金具の発錆部は、サンダー、ワイヤーブラシ、研磨紙などを用いて入念に除去する。 ●花咲き、チョーキングなどの劣化塗膜は皮スキ、サンダー、ブラシで除去する。●油脂類は溶剤がきで除去する。●素地は十分乾燥させる。					
下塗り	ワイド浸透シーラーホワイト又はワイド浸透シーラーブラック 塗料用シンナー	100 10~20注1)	0.08~0.20	1	8時間以上1ヶ月以内	はけ塗り、ローラー塗り、エアレス塗り
上塗り	各種上塗塗料：ワイドエポレシリーズ、ワイドシリーズ、ラフトンワイドワッソ、1液ワイドシリーズ、4Fシリーズ、ワイドウォールシリーズ、ワイドルーフシリーズ、ユニシリーズなど					

注1) 希釈率はセメント系素地の場合10~20%、さび止め効果が必要な金属素地の場合は0~5%、FRP素地の場合は0~5%です。注2) 水性塗料を上塗りする場合は、工程間隔を24時間~7日間としてください。
注3) 劣化した吸い込みの著しい箇所には2回塗りしてください。注4) 塗付量は標準的な数値です。素地の形状や状態、塗装方法、環境によって増減することがあります。
注5) さび止め効果を期待する場合、素地の凸凹部分で膜厚が薄くならないように増し塗りしてください。

塗装上の注意事項

- 素地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
ぜい弱下地の場合、吸水率が大きい場合が多いため、塗装前の含水率には十分注意してください。
- 素地の巣穴、クラック、不陸、目違いなどは、予め樹脂モルタルまたはラフトンファイラーなどで補修し、平滑にしてください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上及び結露が懸念される場合は、塗装を避けてください。
- 強風時や降雨・降雪のおそれのある場合は塗装を避けてください。
- 吹付塗装の場合は、飛散防止の養生など十分に注意してください。
- ワイド浸透シーラーシリーズは2液現場混合タイプです。材料を正しい比率で計量後、十分攪拌し、均一にしてください。
- シーラーのうすめすぎは、下地の強化効果が低下しますので標準希釈幅内で使用してください。
- たれ、塗り残しなどが無いように均一に塗ってください。
- 仕様の各数値は、標準的な数値です。素地の形状や状態、塗装方法、環境によって増減することがあります。
- 上塗りに強溶剤塗料の使用は避けてください。
- 2液型塗料の場合、硬化反応が100%終了しますと、塗り重ね部分で層間け離れを起す可能性がありますので、各工程の塗装間隔及び最終養生は所定の時間を厳守してください。
- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・ちぢみ現象が発生する場合があります。事前に試し塗りで確認してください。ふくれ・ちぢみ現象が発生した場合は、既存塗膜を完全に除去してください。また、既存塗膜に溶剤が残りますと、ふくれ現象が生じる恐れがありますので、十分に乾燥後上塗りしてください。

- 塗替えの場合、事前に付着性を×カット・ブテープ剥離試験で確認し、十分な付着性が確保されていることを確認してください。
- FRPに塗装する場合は、目粗しを十分行ってください。素材の種類によって非常に付着しづらい場合がありますので、事前に試し塗りで密着性を確認してください。
- シーリング材の種類によっては汚れはく離などが生じる場合がありますので、基本的には塗装を避けてください。
- ドアパッキン、ゴム、プラスチックなど可塑剤を含むものに塗装面が接触すると粘着の発生や、はく離を起す場合がありますので、接触が予測される箇所は塗装を避けてください。
- シャッター、歩行部への使用は避けてください。
- 【屋根材】
- 洋風コンクリート瓦(モニル瓦など)、粘土瓦(いぶし瓦、釉薬瓦など)には使用しないでください。
- 屋根材の既存塗膜の劣化が著しい場合や素地表面が露出し、ぜい弱な場合は、塗替え塗膜の剥離の原因となる可能性があるため、塗装は避け、屋根材の貼り替えをお奨めします。
- セメント系の屋根材(化粧スレート瓦)で素地への吸い込みが多い箇所は、下塗りを増し塗りしてください。また、下塗りの乾燥後にガムテープで基材表面からの剥がれがないかを確認し、剥がれがある場合は、表面の剥離層を除去し、下塗りを再塗装してください。
- 化粧スレート瓦などで上下の板の重なり部分にすき間が少ない場合は、塗装前にスパーサー部材(タスペーサーなど)を挿入し、排水機能を維持してください。塗装後にやむを得ず皮スキなどで縁切りする場合は、塗膜を傷めないように十分注意してください。

取扱い上の注意事項

- 引火性液体ですので、火気のあるところでの使用は避けてください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起す恐れがありますので、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないように必ず保護具を着用してください。
- 取扱中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を使用してください。
(防塵マスク、頭巾、保護めがね、長そでの作業衣、スリッパ、保護手袋、前掛けなど)
- 硬化剤の皮膚付着などには十分注意してください。
- 容器から取り出すときには、こぼれないように注意してください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- 蒸気、臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けてください。

- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診断を受けてください。
- 取扱い後は手洗い、うがい、鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。
特に下記の場所への保管は避けてください。
(雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など)
- 捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要なときには、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- カタログに記載されていない素地や仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起すことがありますので、使用前に最寄りの事業所にお問い合わせください。



営業本部 ☎510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX059-397-6191
研究開発本部 ☎510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店

URL <http://www.suzukafine.co.jp/>



●このカタログに記載の商品の内容は、改良などのため予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
●このカタログに記載以外の下地や仕様で塗装される場合は、最寄りの営業所にお問い合わせください。